



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

【座右之銘】(ざゆうのめい)
生きるうえの信条となる金言をいう



Lend a Hand
手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

新世代活動月間

第806回 平成15年 9月24日(水)

〔本日のプログラム〕

1. 点 鐘
2. ロータリー・ソング
「それでこそロータリー」
3. 四つのテスト唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. フォーラム
(新世代活動月間にあたって)
9. 点 鐘

次回予告
★10月1日(水)
会員卓話 正岡文郁君
10月セレモニー
クラブ協議会(度)
★10月8日(水)

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週水曜日(12:30~13:30) 会長 中武 幹雄
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄
事務局 宮崎県佐土原町大字下郷河3887-17 幹事 梶田與之助
☎880-0212 会計 岩切 正司
TEL及びFAX 0985-73-7170 会費帳 池田 仁志

第805回例会記録

(2003. 9. 17)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。本日は第805回の例会です。

始めにビジターのご紹介を致します。西都RCの谷口明三君です。ようこそお出で頂きましてありがとうございます。

さて、先週の例会では、新世代月間に因み、新世代についてお話を致しましたが、本日は私達が例会時に歌う、ロータリーソングについてお話をしたいと思います。

土居浩右氏が翻訳された書の中から、一部を抜粋してお話を致します。

ロータリーに始めて歌を持ち込んだのは、シカゴRCに5番目に入会した、印刷屋のHarry·Rugglesであったそうです。Harryは皆で大声を出して、天真爛漫に歌を唄うと気分が高揚し、クラブの親睦を深め、一体感を醸し出す精神的效果があると主張しました。事実、初期のシカゴクラブでボール・ハリスが非難され、難題に直面し、クラブの雰囲気が怪しくなると、必ずHarryが立ち上がり、「Come on fellows let's sing!!」（仲間に唄わせる）と叫び、音頭をとりながら全員を歌わせ、緊張した空気を和らげ、魔法のように問題を解決した、と記録に残しております。

日本で始めてロータリーソングが発表されたのは、1935年（昭和10年）の京都で開催された年次大会でした。その時のソングは「奉仕の理想」と「我等の生業」であります。

次に、1952年（昭和27年）、大阪の年次大会では「手に手つないで」—どこで会ってもヤアと言おうよ…が発表されました。

全国の全てのロータリアンが例会で同じ歌を同じ調子で唄い続けているというのは、特筆すべき事であると思います。

私は、ロータリーソングはロータリーの為にだけ作られた歌だと思っていたが、実はそうではありませんでした。ロータリー中央事務局発行の「Songs for the Rotary」と言う歌曲集には140曲余りの歌が収録されているそうです。その中で、ロータリーのために作られた歌は40曲だけだそうです。その歌曲集の序文には、ロータリーで唄う歌は、音楽的才能のある人の為の物ではない。良い声、普通の声、全ての声の持ち主の為にある。と書いてあるそうです。

つまり、ロータリーソングは、みんなで唄い、友情を高める為の一つの手段であるからです。ジャズでも、演歌でも、フォークソングでも、時にはオケサ節でも、民謡でも良い、と言う事です。

要は例会の雰囲気を盛り上げるためのものであり、上手でも下手でも、大声を張り上げて唄う事が肝要であるという事です。ただ、儀式的にモグモグと口を動かすだけなら、ロータリーソングは不用なのではないかと思います。私もこの点については大いに反省しております。

これからは、ちょっと視点を変えてみようと思っています。

本日は、旅を大いに楽しんでおられる池田仁志君の卓話になっております。楽しいお話を期待しております。

会長の時間はこの辺で終わらして頂きます。

ひとくちメモ

“一人娘と春の日はくれそうでくれぬ”
貰れる（与える）と暮れる（あたりが暗くなる）を掛けた言い方で、一人娘は親が中々嫁に出さないものである、と云う事のたとえ。

本夜の炉辺会合については、先週、お伝え致しましたが、再度メンバーのお知らせをします。場所は山脇会員宅で、時間は19:00 からです。

岩下君、佐藤君、林君、郡司君、神宮寺君、山脇君、のDグループですが他のグループの方も出席出来る方は是非お出で下さい。

☆幹事報告

幹事 榎田 輿之助 君

本日は例会変更及び休会通知は来ておりません。

野菜のお話

【 人參 】

今日の弁当の中にも人參が入っておりましたが、本日は人參についてお話をいたします。皆様はオレンジ色、レッド色の他にホワイト、イエローとあることは余りご存じではないと思いますが…人參にも色の種類が色々とあります。西洋人參のオレンジ色の色素がベーターカロチンで、ガンの予防、抑制に大きな効果があります。

ベーターカロチンは体内でビタミンAに変わり、身体の抵抗力を高め、活性酸素を除去します。このことにより、風邪を予防したり、ガンを抑制したりするのです。おかしいなーと思った時は、多目に人参を食べるようにならう。

ビタミンAには、皮膚や口、目、消化器などの表面を滑らかに保つ働きもあり、美容にも大変効果のある栄養素です。

その他、カリウムやカルシウムなどのミネラルも豊富ですし、食物繊維が多いのも見逃せません。

人参に含まれる、コハク酸カリウムは、血圧を下げる作用があり、食物繊維も高血圧改善に働きます。

また、ベーターカロチンは油脂と一緒に調理すると吸収が良くなります。茹でて炒め物やドレッシングで和えるなど、油を使った料理を心がけていただくと良いでしょう。

10月下旬になりますと、地元のものが出来ります。

人参は葉っぱにも良い栄養素が含まれております。こちらも油炒め物等して是非食してみて下さい。

☆出席報告

委員長 後藤 明夫 君

会 員 数	28名
例 会 出 席 者	22名
出 席 率	78%
メーティング 者 数	2名
修 正 出 席 率	86%
欠 席 者 名	神宮寺、宮本、近藤、植村

☆会員卓話

池田 仁志君

去る8月23日(土)宮崎県26クラブの会員増強委員長会議が宮崎市で開催され、委員長の代理で私が出席しましたので、その時の会議の内容の概要を報告しまして、今日の会員卓話に替えさせて頂きます。

皆様のお手元に配布しました資料の1枚目例会の出席率と会員の増減表です。
第2730地区で出席率100%のクラブが2クラブあります。

国分中央RC □
志布志RC □ の2クラブ

反対にワースト2は

南九州大崎RC 59.29%

門川RC 66.67%

平均では83.86%

佐土原RCが83%ですから、標準と言うところです。

会員増強で多いのが、

出水RC 14名(退会者4名、新規10名)

宮崎RC 13名(退会者12名の為、新規1名)

鹿児島東南RC 12名(退会者8名の為、新規4名)

出水RCが純増10名で当地区では1番多いクラブです。

入会5名以上のクラブは

小林RC 5名

都城RC 7名

都城西RC 5名

都城北RC 5名

日南中央RC 5名

出水RC 10名 の6クラブ

逆に退会者、ワースト1は

西都RC 8名

鹿児島東RC 8名

減少したクラブが38クラブ、全体の58%全般的に退会者が多いと云うのがこの表からも推察出来ます。

隣国の韓国ではクラブ数が50減少し、会員数も3,579名の減少になっております。

50クラブ減少は大変な事です。

次の会員増強の方針は我々からのデータを元に、ガバナー事務所で作成したものです。

小林RCが5名の増員をしておりまして、このクラブの話が出ました。小林市には3校の高校が有ります。インター・アクトもある関係で、3人の校長が入会されており、その地域に於ける、ロータリークラブの存在感と云うか、素晴らしい団体であると云う事が、子供達にも伝わっている様でした。佐土原では未だ声掛けもしておりませんし、大いに学ぶべき事だと思います。

都城地区は3クラブとも60名台の会員数で出席率も90%台で凄いなーと感じました。しかし、ここでも会員の年齢の問題とか、色々難題は抱えている様です。毎年会員を増やしているクラブの意見を聞いて参考にしたい、と云うクラブの話とかありましたが、この未曾有の不況の時代、会員増強は中々難しいし、退会防止もそれなりの事情を抱えての事だし、これも中々難しい、との意見が盛んに出ました。

元気の良いクラブはその地域で密着した活動を展開し、存在価値を示して、前向きに頑張っているクラブではないか、と云う事でした。

しかし、全クラブで言える事ですが、何らかの対策を講じて行かなければ、年齢も1年1年上がって行くわけだから、このマンネリ化を開拓していくには1人1人が会員増強を目指すことにつきると思います。

退会者はデータでは大体入会3年未満が多いとの事で、3年間は義務出席と云う事をアピールする事、何らかの重要な役をしてもらい、ロータリーの真髄に触れて貰うのも退会防止の一つの手立てではないか、と云う意見も出ました。

当クラブも今年度会長の方針で炉辺会合が盛んに実施されていますが、窓口だ雰囲気の中での情報交換も本音が言えて、大変意味深いものだと思います。他クラブも取り入れている様です。